

水・大気環境局 大気生活環境室
地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

(1) ヒートアイランド現象に関する実態把握及び適応策検討

ヒートアイランド現象のメカニズムの解明に向けた気温等の広域測定、同現象による環境影響の定量的把握等を進めるとともに、影響に対する適応策について検討する。また、ヒートアイランド対策の知見を広く普及し、ヒートアイランド対策の推進を図る。

(2) 環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証

ヒートアイランド現象が顕著な大都市において、地方公共団体とも連携し、水や緑等を活用したヒートアイランド対策の効果や環境影響の検証を行う。

(3) 熱中症予防情報の提供及びモニタリング

熱中症と暑熱環境の指標であるWBGT(湿球黒球温度)のモニタリングを行い、予報値とともにインターネットを活用して提供し、国民の熱中症予防を図る。

(4) モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検証(拡充)

モデル地域において未利用水・未利用エネルギーの有効利用手法の検証を行い、クールシティの実現及び地球温暖化防止に役立てる。

(5) 水・緑・風を活用したヒートアイランド対策地域ビジョン策定モデル事業(新規)

モデル地域において地域の関係主体と連携し、快適な熱環境を持つ環境負荷の小さな都市の実現や、水と緑を活用したやすらぎ空間の創出等の観点を盛り込んだ包括的なヒートアイランド対策ビジョンを策定し、その課題や問題解決のプロセスも含めて情報発信することにより、関係主体の連携の下での効率的なクールシティ創出の取組を全国に広げていく。

(6) ヒートアイランド対策シナリオ策定(新規)

大都市圏の熱環境の長期的な将来像をいくつかのシナリオに基づき検討し、損失額も含めて目に見える形で予測するとともに必要となる対策実施量を推定し、ヒートアイランド対策の必要性を幅広い層に訴えることで、より早期のクールシティの創出を図る。

2. 事業計画

	H21	H22	H23	H24	H25
環境影響の定量的把握、気温等の広域測定、適応策検討					
ヒートアイランド対策に関する普及啓発					
環境技術を活用したヒートアイランド対策の検証					
熱中症予防情報の提供及びモニタリング					
モデル地域における未利用水・未利用エネルギーの有効活用検証					
水・緑・風を活用したヒートアイランド対策地域ビジョン策定モデル事業					
ヒートアイランド対策シナリオ策定					

3. 施策の効果

大都市の暑熱環境から国民の健康が守られる。また、定量的な対策目標に基づき、より多くの主体がヒートアイランド対策に取り組むことにつながる。

環境省におけるクールシティづくりの取組

クールシティ推進事業

ヒートアイランド現象の定量的把握・
適応策検討

対策評価手法の確立

・都市の熱環境のモニタリング・効果測定
(地方公共団体とも連携) etc.

熱中症予防情報の充実

モデル地域における未利用水・未利用
エネルギーの活用(拡充)

水・緑・風を活用した地域ビジョン策定
モデル事業(新規)

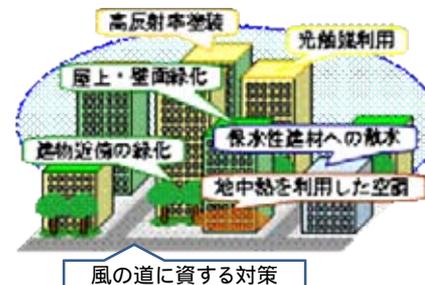
2050年を視野に入れたヒートアイランド
対策シナリオ策定(新規)

クールシティ中枢街区パイロット事業

全国11箇所のモデル街区(大都市中枢街区)

民間事業者の集中的なヒートアイランド対策
に対して補助(屋上緑化、風の道の対策等)

補助対象事業による効果検証



・自治体への対策推進
・対策効果の定量化

得られた知見の
更なる蓄積

民間企業の
対策推進

ヒートアイランド対策ガイドライン(平成20年度策定)

自治体等での対策計画の策定手法を提案、長期的・計画的実施の指針提示